

装薬銃による捕獲実施計画

1. 装薬銃による捕獲従事者
 - ・ 奈良県猟友会上北山支部
2. 実施予定時期
 - ・ ニホンジカが12月上旬頃一斉に低標高地に移動してしまうことが確認されているため、ドライブウェイ閉鎖直後（12月第一週）の一週間を目途に実施する。
3. 出動人日
 - ・ 5人/日 × 4回 程度
（平日仕事がある会員が多いため、適宜調整を行う。）
4. 実施場所
 - ・ 東大台
 - ・ 実施の1ヶ月前程度の時期に地形等の下見を十分に行い、射撃に適した場所を3~4箇所選定する。選定にあたっては、見通し、安土（バックストップ：山、崖、高い土手など）等に留意する。
5. 実施方法
 - ・ 2~3グループに別れ、複数箇所を実施する。
 - ・ 犬は用いず、人のみで実施する。
 - ・ 安全確保の観点から、餌付けを行う。
 - ・ メスを重点的に捕獲する。
6. 安全の確保
 - ・ 装薬銃を用いた捕獲を実施する旨を環境省のホームページ、地元の広報誌等を利用して事前に周知する。
また、林野庁、県、周辺の町村及び森林組合等の関係機関・団体に対して文書等で周知を図る。
 - ・ 捕獲実施期間中も登山道入り口に、装薬銃を用いた捕獲を実施する旨を看板等で周知し、主要な登山道入り口（ビジターセンター横、牛石が原分岐、日出ヶ岳分岐、尾鷲辻など）には環境省職員等を配置し、入山者への周知を行う。
7. 銃の種類
 - ・ ライフル銃
 - ・ 散弾銃
 - ※弾装は鉛代替弾を使用する。
8. 捕獲後の処置
 - ・ 捕獲したニホンジカは回収し、ビジターセンターにある解体施設まで運搬する。自然環境研究センターが解体施設で計測、サンプリングを行い、クリーンセンターへ運搬する。